



新聞まさひこ通信

あけぼの曙

発行責任者
福岡県議会議員
新開昌彦
福岡市早良区曙 2-1-35

Vol.41 平成 20 年 11 月 18 日発行

議会報告 公明党の代表質問



9月定例議会が9月19日から10月9日まで行われました。

私は、公明党を代表して9項目に渡って県の施策をたどりました。

中小企業対策 事業仕分け方式で行政のムダを削減 低出生体重児対策 療養介護通所サービスの普及 重度心身障害者医療助成事業 認定子ども園の普及 事故米のチェック 下請建設業の利益確保 現場に即した教員免許更新制度の実施

中小企業対策

質問 原油・原材料の高騰に続いて、アメリカの金融不安によって更に景気が低迷。本県でも銀行の貸し渋り、貸しはがしが行われ、中小企業は、悲鳴を上げている。年末の倒産件数も増大すると見込まれている。融資、相談の強化を急ぐべき。

答弁 県内中小企業の資金調達に支障が生じないように信用保証制度の強化・緊急総合対策の早急な実施を国に求め、中小企業支援に取り組む。

行政のムダを削減

質問 県民は、物価高騰によって生活を見直してムダ省く努力をしている。行政のムダを省くため、第三者の目による行政のムダを省く「事業仕分け方式」を導入してはどうか。

答弁 本県は「事業点検方式」によって事務事業を見直しており、着実に成果(68億円削減)を挙げている。



下請建設業の利益確保

質問 公共事業の低入札が常態化し、更に燃油、材料費の高騰で下請け業者は、元請から施工価格の低下、材料費の価格協力を求められ惨憺たる現状。2001年「公共工事の入札及び契約の適正化法」が施行されたが、福岡県では契約書に依らず泣かされる下請け業者が多い。

法の通り県が契約書綴りをチェックし、健全な契約社会へと変革すべし。

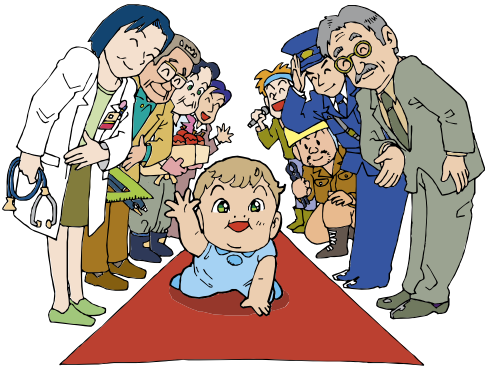
代金支払いも二次下請け以下も現金払いを実行するよう指導すべし。

答弁 契約と支払いは、確認作業を徹底する。

総合評価方式の重点項目に地域貢献、災害発生時の対応などを評価し加点することを提案。

答弁 防災活動による地域貢献を評価し活用できる仕組みを検討する。

極低出生体重児に目線を！



©NEW KOMETTO

低出生体重児は、2500g未満の赤ちゃん。1500g未満を極低出生体重児、1000g未満を超低出生体重児といいます。

医学の発達とともに低出生体重児の出生数が、20年前の5%から10%へと増加。県内でも平成18年度では4567人が生まれています。極低出生体重児の2割の子どもが障害を持つ可能性があります。

NICUの医師が言いました「医学はこんなに小さな命を救うことができるようになりましたが、人生まで責任を持ってません」と。私は、この子達の人生のサポートは「政治の責任で行うべき」と思います。

極低出生体重児の親子のサポートする「Nっ子クラブ カンガルーの親子」を立ち上げた登山万佐子さんと452gで生まれた長女綾美ちゃんに会ってきました。

一切の垣根が無い「会」は県内唯一です。

福岡県は、この子達に光が当たっていないことを知り、公明党福岡県議団は、調査を開始しました。24年間低出生体重児と向き合う都立墨東病院周産期センターの渡辺とよ子医師に取り組みを聞き、熊本県の極低出生体重児対策「リトルエンジェル事業」を調査してきました。

質問 このような会が立ち上がる場合の拠点提供のサポートをすべし。

答弁 自助グループの会を育成します。

質問 熊本県が実施している、病院の治療記録、子どもの履歴が記録できる「リトルエンジェル手帳」を実施すべし。

答弁 本県では母子健康手帳と育児ハンドブックで成果を挙げている。

再質問 県は、極低出生体重児のことを全く理解していない。

質問 乳幼児の予防接種 BCG が、NICU に入院して居住区の関係で無料接種できない事がある。安全網をかけるべし。

答弁 市町村に理解を求めて参る。

質問 早産予防のため絨毛膜羊膜炎と歯周病の健診を実施すべし。

答弁 研究段階。推移を見守りたい。

手帳の実施について全く議論が、かみ合いませんでした。実現するまで粘り強く取り組んで参ります。



「Nっ子クラブ カンガルーの親子」の定例会 筑紫保健福祉環境事務所

もっと、誠実な対応を！

重度心身障害者医療制度は、10月から精神障害者も対象となりますが、所得制限と入院費1万円と一医療機関500円の自己負担が課せられることになり、市町村議会でも紛糾。私は、独自調査を元に県をただしました。県は10月実施するが、対象者の家庭訪問等

実態を掴む。と二月議会で答弁していたが、掴んでいなかったようです。不誠実極まる！

私は、重度の障害者が受診抑制につながるのではないかと指摘し、再度住む場所により医療機関が選択できず自己負担が増えるのは不公平だと。訴えました。

答弁 10月の実態を掴むとともに、一年を目途に受診状況や障害者の相談内容を把握します。